

生分解性プラスチックを作ろう！

塗木敬人

ぼくは、生分解性プラスチックという微生物のはたらきによって分解するプラスチックがあることを初めて知りました。

カゼインプラスチックのつくりかたは、酢と牛乳を混ぜて、電子レンジで温めて完成です。

この中で、大変だった事は電子レンジで温める過程です。

温めすぎると、破裂してしまうのでよく見ないといけません。ぼくは、5秒ほどずつ様子をみながら、温めては、止めてを何度も繰り返しました。食べものからつくったので食べられると思い、先生に確認して少しかじってみましたが、ちょっと酸っぱくてパサパサしていました。

カゼインプラスチックを活用することで、

SDGs の目標

【12.つくる責任・つかう責任】【14.海の豊かさを守ろう】

に繋がれると考えました。

例えば、給食で残った牛乳でカゼインプラスチックを作ったらフードロスになるし、魚釣りで使う網や釣り糸、道具がカゼインプラスチックで出来ていたら海も汚れないし、海で暮らす動物にもやさしいと思います。

キャンプや山登りのときに使用したラップがカゼインプラスチックで出来ていたらゴミも減るし、すごくいいなと思いました。

カゼインプラスチックというものがあることを今回知れたので、これから学校や家で「これにカゼインプラスチックが使えたらいいな」と考えながら生活したいと思いました。実験も普段しない実験メガネや白衣を着てドキドキしましたが、とても楽しかったです。

貴重な体験をさせてもらって先生と大学生のお兄さんたち、ありがとうございました。